

“KANAGAWA” 福祉タイムズ

2004 9 No.634

発行日 2004年（平成16年）9月15日
毎月1回15日発行
発行所 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
TEL045-311-1423 FAX045-312-6302
http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/
編集発行人 平本邦夫
定価 100円（税・郵送料込）
印刷所 株式会社 神奈川機関紙印刷所
昭和27年1月30日 第三種郵便物認可



「楽しみながら挑戦したい」藤沢市のソフトバレーボールチーム「湘南クラブ」に所属する鈴木和男・和子さん夫妻は、10月16～19日に開催の「ねんりんピックぐんま大会」に、本県代表として参加する。「優しく扱わないとボールに反発があるのでコントロールが大変。集中できることとラリーが続く楽しみが魅力のひとつ」と和子さん。和男さんは「汗をかけた後のボールが美味しい！ボールを持って全国各地を廻り交流の輪が広がるのを感じる時、始めて良かったと感じます」と爽やかに微笑む。（写真・文 菊地信夫）

あんどる

愛犬「ハチ」が失踪。当園のアイドル的な迷犬故、四方八方手を尽くすも手がかりなし。朝な夕なにハチを先頭とする散歩もなく、利用者もイライラが募るばかり。

そんなある日、酒匂川の水際でセキレイが、クルクル輪を描いて遊んでいるかのような姿で死んでいました。足に絡まった髪の毛のような細いテグスを解いてやり、その釣りの犠牲者を本流に放つ時、ふとハチに思いが重なり、心中やるせないブルーな気持ちで一日を過ごしました。

その翌日、保健所からハチらしい犬が車にはねられたとの連絡で動物病院を尋ねると、瀕死の状態で運ばれ、取りあえず命だけを助け飼い主を探していただいたことでした。大腿骨折の手術も無事成功し、今では元気にお伴衆を引き連れ、胸を張って散歩をする姿に戻りました。

そのまま通り過ぎれば済んだものを、重く汚れた犬を獣医さんまで運び込み、命を救ってくれただけでなく、利用者皆の心までも救ってくれた、小さくともとても大きく大きな善意に胸を熱くするとともに、大事な心の宝物を得ることができました。

何気ない日常の忘れられない一コマです。

紅梅学園施設長 大峽健一

目次

CONTENTS

- 福祉サービスマニエール委員会の取り組み……2・3
- 作業療法士の活動にふれる体験デー開催される……4
- ともしびグッズコーナーをご利用ください……5
- 夏休みに自教具を作ったよ……6
- 長寿社会開発センターいきいきはつらつ……7
- 連載・つながりをもとめて(6)……10・11